

TIRE CLIMAX

インパルスコントロール
コンパウンドテクノロジー



特殊シリカを配合し、高い剛性とともな快適な乗り心地を実現した。ブレーキ性能も向上している。

アクティブブレーキングテクノロジー



制動時、ブロックの形状が変化することで接地面積を増大させ、さらに制動距離を短縮している。

パワークッションテクノロジー



トレッド面からの衝撃などの入力、トレッド下部のベースコンパウンドで緩和、ハンドリングが向上。

公道レベルでは味わい切れない強力グリップ
一方で、リニアなハンドリングが楽しめる

Goodyear EAGLE F1 ASYMMETRIC 5

グッドイヤー イーグル エフワン アシメトリック ファイブ



グッドイヤーの最新スポーツタイヤ「イーグルF1アシメトリック5」を初テスト。ゴルフGTIパフォーマンスに履かせたその第一印象は、果たして。

文:こもだきよし / 写真:佐藤靖彦
TEXT Kiyoshi Komoda PHOTOS Yasuhiko Sato



■サイズ表 全1bサイズ
19インチ 245/40R19~275/35R19
18インチ 235/50R18~245/35R18
17インチ 225/55R17~235/45R17

グッドイヤーイーグルF1アシメトリック5は、最新のスポーツタイヤらしく左右非対称のリップパターンが基調となるデザインを採用している。スリット状の溝により途切れる部分もその幅は比較的狭く、剛性アップを図っていることがわかる。これによりハードな走りでもブロックが変形せず、しっかりと路面を捉えてくれることを予感することができた。

4本のストレートグループはそれぞれ幅が広く、耐ハイドロブレーション性能は良さそうだ。また溝底には特殊なデザインが施されているが、これも耐ハイドロブレーション性能アップに貢献しているのだろうか。

ゴルフGTIパフォーマンスの標準ホイールに履かせたアシメトリック5のサイズは、225/35R19 88YXL。空気圧は前後とも280kPaとやや高めである。

20~30km/hのやや低いスピード域では、路面の凹凸を拾うためにタイヤの硬い感じが伝わってくる。さすがスポーツタイヤだけあってスパルタンだ、と思っていながら、通常の市街地走行のスピードで段差を通過するときにはトレッドゴムが衝撃を巧みに吸収し、角があるショックは伝えてこ

ない。それでも偏平タイヤだし空気圧が高いため、サイドウォールがたわむまで衝撃が大きくなるようなところでは、ややハードな印象になる。

しかしこれがワインディングロードに出かけてスポーツドライビングを愉しむシーンになると、ドライバリーにとってはダイレクトに路面とつながっている感じでごっと気持ちが良くなってくる。

ハンドルの応答性は、「大人」の味つけ。反応がシャープ過ぎず良い。そして切り角に対してリニアな反応なので、微小舵から大舵角まで期待どおりの反応を示す。ハンドルの手応えは軽めで軽快感がある。ちょっと乗ったときに驚かせるような反応ではなく、長く乗ったときにとっても扱いやすい。そういう意味で大人の味なのだ。

コーナリング性能のチェックでは、強烈なグリップ力を実感できた。ワインディングロードでコーナリング中に、路面のアンジュレーションがあってもうまく対応してくれる。ハイスピードコーナリングはアシメトリック5の得意分野だ。路面のうねりによってタイヤの接地圧が大きく変化するような場面でも、しっかりとグリップしてくれるから安心感が高い。

最新技術を投入して生まれたグリップ性能は、公道では限界がつかめないほど強力だ。次はぜひ、サーキットを走ってみたい。